

特集Ⅱ

令和2年中に発生した 長万部町の 交通事故を分析



ストップ・ザ・交通事故
くめさせ 安全で
安心な北海道

運転者は、車を運転する中で起こりうる状況を予測しながら危険を回避するように求められています。

しかし、交通事故の多くは運転者のほんのわずかな不注意によって発生し、予期せぬ悲劇を生んでいます。そして被害者になっても、加害者になっても、一瞬のうちに幸せな家庭を崩壊させてしまうのが、交通事故です。

全国の交通事故死者は、2,839人で前年より376人減少し、全国死者数はここ数年除々にあります。減少傾向にあります。

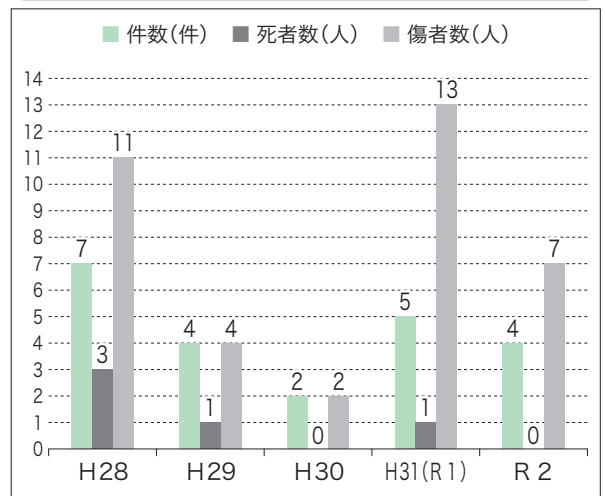
北海道においても、交通事故死者数は前年より8人減少して、全国ワースト3位で前年と同じになっております。

交通事故が減少したとは言え、尊い命が失われている事に変わりありません。高齢者の道路歩行中の死亡事故が多く見受けられます。

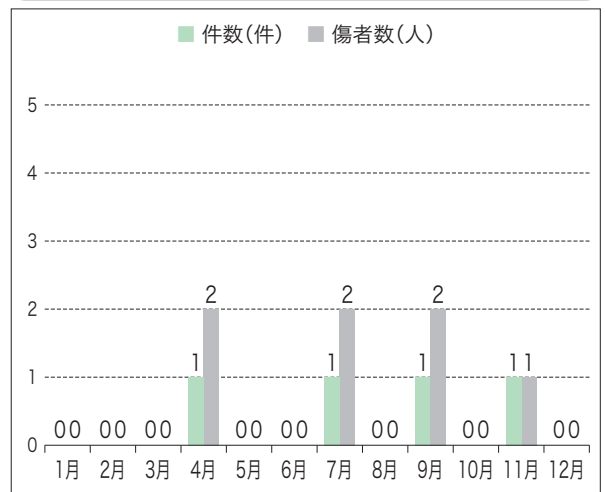
悲惨な交通事故の犠牲者を一人でも減少させるため、飲酒運転は厳禁、スピードは控えめに車間距離を十分にとり、前方を確認し、ブレーキは早めにかけて、衝突を回避するよう努めましょう。

今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年一年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

年別町内発生交通事故の推移



月別町内発生交通事故の推移



七人が重軽傷

長万部町内で昨年発生した交通事故は4件、傷者数は7人で死者数は0人、前年に比べ件数で1件、傷者数6人、死者数1人の減少となっています。

北海道全体における交通事故死者数は、144人で前年と比べて8人減少となっています。

交通死亡事故は比較の見通しの良い直線道路でスピードの出し過ぎや無理な追い越し・居眠り運転などが死亡事故の要因になっています。車を運転するときは、油断せず交通ルールをしっかり守りましょう。また、全席シートベルトを着用しましょう。

交通事故の多くは 国道5号線で

道路別の発生状況では国道5号線で3件、その他道路で1件発生しています。

比較の見通しの良い道路であることが、速度の出し過ぎや無理な追い越し運転の原因になっていると考えられます。また、一般的に事故を起こしやすい場所としては、市街地の信号機のない交差点、直線道路と比べて見通しが悪く、出会い頭の衝突事故や右直事故などが発生しやすいため、このような場所を運転する際には、一時停止や徐行を心がけ十分注意しましょう。

安全運転義務違反 が事故の原因に

事故類型別の発生状況では工作物衝突が1件、出会い頭が2件、その他による事故が1件発生しています。

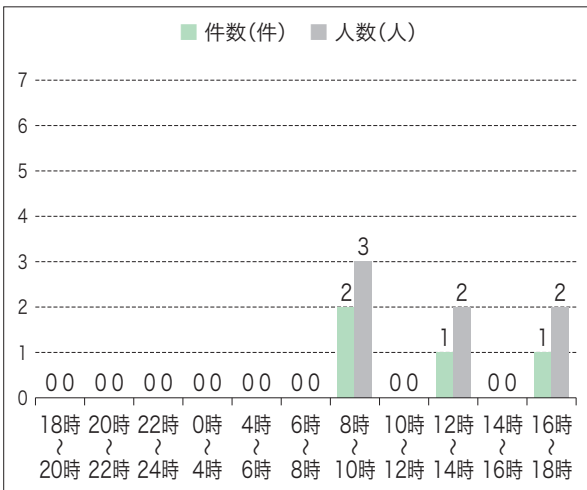
法令違反別の発生状況では信号無視が1件、前方不注意と左右不確認、後方不確認が1件づつとなり、3件全てが安全運転義務違反により発生しています。ちょっとした気の緩みは大きな事故に繋がります。あなたと相手の一生を台無しにしてしまいます。便利な車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になります。車を運転するときは時間と気持ちに余裕を持ち、車間距離を広げ、適度な緊張感を持って運転しましょう。

町民一人ひとりが、交通安全を自らのことと考え、思いやりのある安全運転を心がけましょう!!

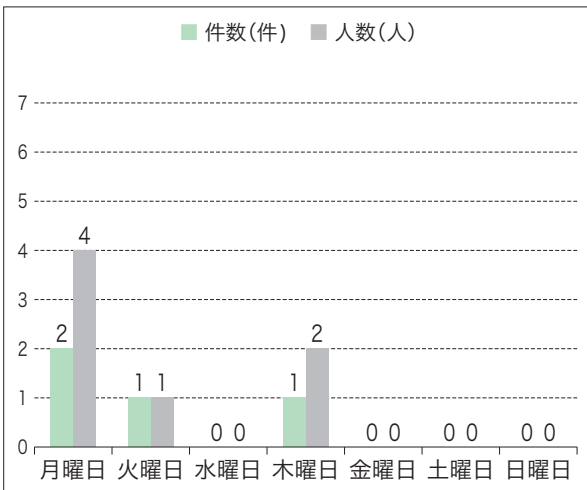


道路別	事故類型別	法令違反別	通行目的別
<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道 ・ 5号線 [3件・5人] ・ その他の道路 [1件・2人] 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 車両相互 ・ 工作物衝突 [1件・2人] ・ 出会い頭 [2件・3人] ・ その他 [1件・2人] 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法令違反 ・ 信号無視 [1件・1人] ■ 安全運転義務違反 ・ 前方不注意 [1件・2人] ・ 前左右不確認 [1件・2人] ・ 後方不確認 [1件・2人] 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務 [2件・4人] ■ 観光・娯楽 [1件・2人] ■ 訪問 [1件・1人]
[] 事故件数・傷者数	[] 事故件数・傷者数	[] 事故件数・傷者数	[] 事故件数・傷者数

時間別事故発生状況



曜日別事故発生状況



ゆとりを持った安全運転で

時間別の発生状況では4件中3件の事故が日中に発生し、夕方も1件発生しております。曜日別では月曜日に2件、火曜日と木曜日に1件ずつ発生しております。通行目的別では業務で2件、観光・娯楽と訪問で1件ずつ発生しております。目的は様々ですが、時間に余裕がないとスピードの出し過ぎや前方不注意などが多くなり、その結果、交通事故を起こす可能性が高くなります。運転する際には、体調を万全にし、時間的、精神的に余裕を持つことが大切です。

疲れたときにはこまめな休憩を

長時間の運転は、リラックスしているつもりでも、実は縮こまった姿勢になりがちです。そのため、筋肉の緊張状態が続き、肩こりや腰痛の原因にもなります。また、運転中は前方の標識から手元の機器類まで絶えず目を動かすため、ピントを合わせる目の筋肉が疲れてきます。この疲れが蓄積し、全身の疲れに繋がります。これを防ぐために1〜2時間おきにこまめな休憩を取り、運転席から降りて外の空気を吸いながら、軽めの体操などを行いましょう。

高齢者の事故が増えています

全国的に交通事故による死者数は減少傾向にある一方で、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。高齢ドライバーへの思いやりを持った運転や高齢歩行者を見かけたから減速するなど、高齢者の動きに対応できるようにやさしい運転を心がけましょう。また、年齢を重ねるにつれて、安全運転に必要な記憶力や判断力などの認知機能は、低下していきます。運転に自信が無くなったり家族から「運転が心配」と言われるようになった場合は、運転免許証の自主返納を考えましょう。